



令和2年2月12日

各位

会社名 大黒屋ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小川 浩平
 (コード番号 6993 東証第二部)
 問合せ先 財務経理部長 塩津 友輝
 (TEL. 03-6451-4300)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社では、最近の業績動向を踏まえ、令和元年11月13日に公表いたしました令和2年3月期の通期連結業績予想につきまして、下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 令和2年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	18,831	572	116	△852	△7.29
今回修正予想 (B)	17,255	217	△346	△1,662	△14.21
増減額 (B-A)	△1,576	△355	△462	△810	△6.92
増減率 (%)	△8.4	△62.1	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成31年3月期)	20,439	△163	△722	△1,039	△9.19

2. 修正の理由

第3四半期連結累計期間までに発生した主要子会社である株式会社大黒屋（以下、「大黒屋」という。）の免税売上高の減少（前期比784百万円の減少）を反映するとともに、第4四半期連結会計期間において中国で発生した新型コロナウイルス感染症に対する各国の施策が当社の免税売上高に及ぼす影響を勘案し、当連結会計年度の大黒屋の売上高を1,576百万円下方修正するとともに、同営業利益を355百万円下方修正しております。

また、同日付で開示しております当社開示資料「営業外費用（持分法による投資損失）及び特別損失（事業整理損失引当金繰入額及び事業整理損失）の計上に関するお知らせ」にてお知らせしておりますとおり、持分法適用関連会社であるBeijing XinBang Daikokuya Trading Corporation Ltd.の業績に基づき、持分法による投資損失153百万円を計上しましたため、経常利益を下方修正するとともに、Speedloan Finance Limitedにおける事業撤退損失引当金繰入が追加で421百万円発生しましたため親会社株主に帰属する当期純利益及び一株当たり当期純利益を下方修正しております。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上